

広島商船高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)	授業科目	英語
科目基礎情報					
科目番号	19専15001		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	産業システム工学専攻		対象学年	専1	
開設期	前期		週時間数	2	
教科書/教材	教員が作成した教材				
担当教員	池田 幸恵, 藤沢 徹也				
到達目標					
(1) 教材用ではないオーセンティックな音声を聞き取ることができる。 (2) 実践的な語彙や慣用表現を習得することができる。 (3) 音声の変化、イントネーション、リズム、発音のポイントを踏まえて話すことができる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	教材用ではないオーセンティックな音声を聞き取ることが十分にできる。		教材用ではないオーセンティックな音声を聞き取ることができる。		教材用ではないオーセンティックな音声を聞き取ることができない。
評価項目2	実践的な語彙や慣用表現を十分に習得できている。		実践的な語彙や慣用表現を習得できている。		実践的な語彙や慣用表現を十分に習得できていない。
評価項目3	音声の変化、イントネーション、リズム、発音のポイントを踏まえて話すことが十分にできる。		音声の変化、イントネーション、リズム、発音のポイントを踏まえて話すことができる。		音声の変化、イントネーション、リズム、発音のポイントを踏まえて話すことができない。
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	様々な英文に接し、その英文を通じて、4技能を鍛える。 語学教材のために録音された音声だけではなく、連結、脱落、同化などの音声変化を伴うナチュラルな英語音声が使用されている映画やドラマを教材として、総合的な英語運用能力を高めることを目標とする。				
授業の進め方・方法	【授業第1～8週】 ディクテーション(Listening)→内容理解 (Reading)→音読等 (Speaking)→英文の再現 (Writing) 【授業第9～16週】 映画やドラマの中の英語を聞き取る活動を行い、そこで使われている語彙、文法、音声変化について確認する。その後、指定箇所のセリフの音読練習を個人、ペア、グループで行い、発表する。				
注意点	前回の授業に関する小テストを行うので、十分に復習をして授業に臨むこと。 スピーキング発表はパフォーマンス点として評価に含まれるので、授業内での音読練習にしっかりと取り組むこと。 ※本授業は前半 (1～8週) と後半 (9～16週) で2名の教員によって行われ、各教員によって評価がなされる。				
授業の属性・履修上の区分					
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応	
☐ 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	授業についての説明 ディクテーション、英文読解	授業の目標は流れについて理解できる。 ディクテーションの方法を理解する。文法や文化背景を考慮し、正しく英文を理解する。	
		2週	英文音読、ライティング	シャドーイングなどを通じて、正しく発音できるようにし、同時に英文を体に刷り込む。体に刷り込んだ英文を正しいスペリングで書けるようになる。	
		3週	ディクテーション、英文読解	ディクテーションをしてリスニングの弱点を把握する。文法や文化背景を考慮し、正しく英文を理解する。	
		4週	英文音読、ライティング	シャドーイングなどを通じて、正しく発音できるようにし、同時に英文を体に刷り込む。体に刷り込んだ英文を正しいスペリングで書けるようになる。	
		5週	ディクテーション、英文読解	ディクテーションをしてリスニングの弱点を把握する。文法や文化背景を考慮し、正しく英文を理解する。	
		6週	英文音読、ライティング	シャドーイングなどを通じて、正しく発音できるようにし、同時に英文を体に刷り込む。体に刷り込んだ英文を正しいスペリングで書けるようになる。	
		7週	ディクテーション、英文読解	ディクテーションをしてリスニングの弱点を把握する。文法や文化背景を考慮し、正しく英文を理解する。	
		8週	英文音読、ライティング	シャドーイングなどを通じて、正しく発音できるようにし、同時に英文を体に刷り込む。体に刷り込んだ英文を正しいスペリングで書けるようになる。	
	2ndQ	9週	後半の授業についての説明 映画作品のリスニング①	授業の到達目標と評価方法を理解する。 指定場面の音声を連結・脱落・同化などの音声変化を理解したうえで、聞き取ることができる。	
		10週	映画作品のスピーキング①	指定場面のセリフを音声変化や発音のポイントを踏まえて音読することができる。	
		11週	映画作品のリスニング②	指定場面の音声を連結・脱落・同化などの音声変化を理解したうえで、聞き取ることができる。	
		12週	映画作品のスピーキング②	指定場面のセリフを音声変化や発音のポイントを踏まえて音読することができる。	
		13週	映画作品のリスニング③	指定場面の音声を連結・脱落・同化などの音声変化を理解したうえで、聞き取ることができる。	
		14週	映画作品のスピーキング③	指定場面のセリフを音声変化や発音のポイントを踏まえて音読することができる。	

		15週	ドラマのリスニング	指定場面の音声を連結・脱落・同化などの音声変化を理解したうえで、聞き取ることができる。			
		16週	ドラマのスピーキング	指定場面のセリフを音声変化や発音のポイントを踏まえて音読することができる。			
評価割合							
	試験	小テスト	課題	発表	成果品・実技	その他	合計
総合評価割合	0	65	35	0	0	0	100
基礎的能力	0	65	35	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0